NIE実践報告

１．タイトル：新聞を身近にする工夫

２．学校名

埼玉県さいたま市立下落合小学校

３．実践者名（代表者名）

今井　純

４．学年

第５学年

５．教科・領域名および受講児童・生徒数

国語　９６人

６．単元（本時の学習課題）名

目的に応じた伝え方を考えよう

７．目標（狙い）

文章全体から、様々な情報や書き手の考えを読み取ることができる。

８．評価の視点

・教材文や新聞から学んだ編集や発信の方法を生かし、材料を選んだり、配列を考えたり、また写真や図表との関係を考えたりして、原稿を書いている。

９．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「ニュース番組の現場から」（教科書教材：光村図書）７時間
「工夫して発信しよう（原稿作り）」７時間　　合計１４時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①単元全体を概観し学習の見通しをもつ。（１時間）
②テレビニュースの「特集」がどのように作られているか、内容を押さえながら「ニュース番組の現場から」を読む。（２時間）
③ニュースの「特集」を作るときに大事なことを読み取る。（４時間）
④グループごとに新聞で伝えるための計画を立て、新聞等から必要な材料を集め、伝えたいことの中心を考えて編集して、伝える活動をする。（５時間）
⑤適切な言葉遣いに注意して、分かりやすく、また効果的にニュースを発信し、感想や意見を交流して学習を振り返ってまとめる。（２時間）
（留意点）
・新聞を手に取りながら、新聞の構成に気づくようにする。
・題材は、新聞の切り抜きから選ぶようにする。毎日の１分間スピーチ（新聞の切り抜きをもとに自分の考えを伝える活動）で使った原稿も参考にさせるようにする。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

児童は、新聞を活用することで、幅広く題材を集めることができた。総合的な学習の時間の内容とのかかわりから、環境についての題材を選んでいる児童が多かった。

12．成果と課題

・新聞記事を活用したことで、題材に広がりが見られた。
・新聞を活用した普段の活動も、本単元の授業に生かすことができた。